

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	中小企業金融支援事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等	平塚市中小企業等融資制度要綱ほか		
対象・受益者	融資を受けようとする中小企業、金融機関	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
平塚市中小企業融資制度を利用した中小企業者が、支払った信用保証料及び利子に対する補助を受けて健全な発展をしています。		中小企業の経営の安定と振興を図るため、施設・設備の導入等の支援をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	「金融のしおり」発行部数			単位	部
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	3,000	3,000	3,000		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	融資の達成率			単位	%
	説明・算定式	融資件数 ÷ 申込み数 × 100				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	100	100	100		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
経済情勢や事業者のニーズ等を反映した融資制度や各種補助金制度を継続実施するとともに、平成28年度から実施する創業資金に関する利子補給制度の拡充や融資制度の利用対象者拡大に向け、金融機関等と協議・調整を行いました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市内事業者の多数を占める中小企業者等の振興や経営安定のため、市が融資制度及び利子補給や信用保証料補助制度を行うことは必要性が高いと言えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	融資制度による市内事業者の資金調達円滑化や、各種補助金制度による負担の軽減は、経営支援の観点から有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	融資制度及び各種補助金制度は中小企業の経営支援策として効果的であり、その内容についても随時見直しを行っていることから妥当性は高いと考えます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	融資制度は、金融機関に資金を預託して運営しており、効率性は高いです。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 経済情勢や事業者のニーズ等を反映した、より利用しやすい融資制度について検討し、中小企業の振興や経営安定を促進するために各種制度の充実を継続的に図っていく必要があります。また、資金調達も含めた経営課題を総合的に解決するための支援拠点の機能強化を金融機関と連携を図りながら検討していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		資金融資や利子補給・信用保証料の補助	資金融資や利子補給・信用保証料の補助	資金融資や利子補給・信用保証料の補助
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	一般財源	33,828	35,258	33,140
事業費 (A)		1,533,828	1,535,258	1,533,140
執行率 (%)		99.39	99.77	99.98

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 中小企業の経営安定と振興を図るため、経済情勢や事業者のニーズ等を反映した金融面での支援のほか、金融機関と連携して経営相談や販路拡大等の支援の拡充を行います。
課長コメント 事業者の経営課題を総合的に解決するため、ニーズを捉えた金融支援を継続するとともに、販路開拓支援の充実や利用者の満足度を高める相談体制づくりが必要と考えます。